

CAD情報

大判プリンタの市場シェアNo.1『imagePROGRAF』シリーズ※ CAD用途に最適化された大判プリンタを選ぶ!

キヤノンの大判プリンタ『imagePROGRAF』シリーズは、業界最速のプリント速度を誇りながら、美しさを損なわない高精細出力を両立させている。同時にCAD用途に最適化された性能を提供し、無駄な印刷コストを削減しながら生産性を高めるための数々のアイデアを具現化。CAD図面のみならず、提案書や3Dパースなども出力できるため汎用性にも優れている。業界を牽引する最新の大判プリンタの魅力を探る。



キヤノンマーケティング
ジャパン株式会社
BSマーケティング
統括本部
LFP企画部LFP企画課
主任
北岡 宏之氏

大判プリンタ市場販売台数No.1 CAD市場向け製品の地位を確立

キヤノンの大判プリンタは、ここ4、5年で急速に市場に浸透し、2010年には大判プリンタの販売台数でシェアNo.1を獲得した。その勢いは衰えを知らず、2011年も順調に売上を伸ばしている。中でも『5Colorsモデル』は、

CADやGIS(地理情報システム)、ポスターに特化した大判プリンタとして好評だ。当然のことながら、エンドユーザー様には選ばれるには理由がある。

「CADに携わるエンドユーザー様は、図面が正確に出力されることを重視しています。例えば、線の太さが1センチで描かれたものは、必ず1センチで印刷できるように、CAD市場向けの製品として改良を重ねてきました」とキヤノンマーケティングジャパン株式会社の北岡宏之氏は話す。

キヤノンの大判プリンタは、業界最速のプリント速度を実現しながらも、にじみの少ないハッキリとした黒の線画や文字を再現し、鮮明で美しいカラー印

刷を両立させている。プリンタとしての基本性能の高さがCAD市場で受け入れられているのだ。

『5Colorsモデル』がCAD市場向けの製品であることは、CADソフトの定番ともいえる『AutoCAD』との親和性が非常に高いことからわかる。

オートデスクとのコラボレーションにより、キヤノンが開発した、ドライバとともに組み込まれるユーティリティソフト『AutoCAD用最適化キット』は、『AutoCAD』からの印刷を優先的に制御してくれる。さらに『AutoCAD』専用のHDIドライバーを開発し、キヤノンの『5Colorsモデル』全製品に同梱する。

■ CADに特化したプリンタとは?

・AutoCAD (オートデスク)

世界中で利用される 定番CADソフト

2次元/3次元CAD『AutoCAD』は、30年にわたり、「正確な図面を描く」「作図を効率よく行う」「データの互換性を維持する」といったCADに求められるニーズを強化してきた。『AutoCAD』の優れた機能とその柔軟性は、汎用設計ソリューションのデファクトスタンダードとして世界で認められている。

AutoCAD用最適化キット

『imagePROGRAF』シリーズで、オートデスク社のCADソフト『AutoCAD』からの印刷を最適に制御するためのユーティリティソフト。パソコンにインストールするだけで自動的に最適化される

AutoCAD用HDIドライバ

『AutoCAD』および『AutoCAD LT』を使用して印刷するためのプリンタドライバ。キヤノンが開発し、キヤノンのCAD市場向け大判プリンタ全製品に同梱されている

CADに
特化した
大判
プリン
タなら

無駄なコストを削減し、
生産性を向上!!
さらに豊かな表現力で
クオリティもアップ!!

▶専用ドライバやユーティリティソフトでAutoCADからの出力をサポート!

※矢野経済研究所 2010年1月~12月 国内大判プリンター市場 販売台数において

■ キヤノン大判プリンタ image PROGRAF iPF650の主な仕様

プリント方式	インクジェット	最大用紙幅	610mm (24inch/A1ノビ)
プリント速度 (A1)※1	標準:約43秒、エコノミー時:約30秒	用紙種類	手差し(カット紙)、ロール紙
プリント解像度	2,400×1,200dpi	インタフェース	10Base-T/100Base-TX/ 1000Base-T、 Hi-Speed USB
対応OS	Windows7、Windows 2000、 Windows XP、Windows Vista、 Windows Server 2003、 Windows Server 2008、 Mac OS X 10.3.9以降	消費電力	動作時:140W以下、省電力待 機時(低電力モード時):5W以下
給紙容量	ロール紙最大外径:150mm	外形寸法(W×D×H)	997×887×1,062mm (スタンド装着時)
最大印刷可能長	18m	質量	約54kg(スタンド装着時)

・A1約30秒の高速性と約9円の低コストを実現 ・最高2,400×1,200dpiの高解像度が生む高品位

※1普通紙CAD出力の場合



「一度に大量の図面を出力しようとすると、PCに負荷がかかり過ぎてスムーズに処理できないケースがあります。これまではハンドチューンで最適化していましたが、『AutoCAD用最適化キット』により、自動的に設定環境を調整し、常に最適な状態で出力できます。『AutoCAD』をご使用のエンドユーザー様には、最初におすすめてほしい製品です」とキヤノン株式会社の赤土行信氏は話す。

エンドユーザー様やパートナー様に手間を取らせることなく、快適な印刷環境を提供できる技術力。この安心感により、キヤノン製品が選ばれていることは間違いない。

繁忙期にエンドユーザー様がプリンタを止めない工夫満載

印刷中にインク切れや用紙切れなどでプリンタが途中で止まってしまうと、インクや用紙が無駄になり、時間のロスも避けられない。「納期が迫る繁忙期に印刷を止めたくないですが、消耗品には必ず交換のタイミングがきます。特にCAD出力の場合、印刷のやり直しは時間とコストのダメージが大きいので、印刷を途中で止めない機能を求められています」と北岡氏は話す。

キヤノンの大判プリンタは、日本のメーカーならではのきめ細かな機能が実装され、印刷業務を途中で止めない工夫が随所に盛り込まれている。特

に「ストップレスインクタンク交換機能」は、インクが切れてもサブタンクにより印刷を継続でき、印刷中でもインクタンクを交換できる優れた機能だ。また、「ロール紙残量管理機能」は、ロール紙を交換する際に、紙質や残量の情報をバーコードで印刷し管理する機能。的確な残量管理により、印刷前に用紙切れの注意を促してくれるので紙



キヤノン株式会社
Lプリンタ事業本部
Lプリンタ商品企画第一課
赤土 行信氏

■ CADでも威力を発揮する便利な機能!!

・ストップレスインクタンク交換

サブのインクタンクに一定量のインクを蓄えることで、インクが切れてもサブタンクのインクで普通紙なら約80枚を印刷することができる。また、印刷を停止せずにインクタンクの交換が行える

・ロール紙残量管理機能

ロール紙の種類や残量をバーコードで管理し、プリントサイズに対して、残量が不足する場合には、プリントを開始する前にメッセージを表示して用紙の交換を促し、印刷途中の用紙切れを防止する

・アカウンティング機能

インクや用紙の使用量から印刷コストを算出。図面1枚の出力コストや1か月の印刷コストを一目で確認できる

・ロール紙プレビュー機能

フチなし設定や印刷位置などドライバで設定した印刷レイアウトを、実際のロール紙に配置したイメージで直感的に確認できるため、予期せぬプリント結果やプリントミスを未然に回避できる

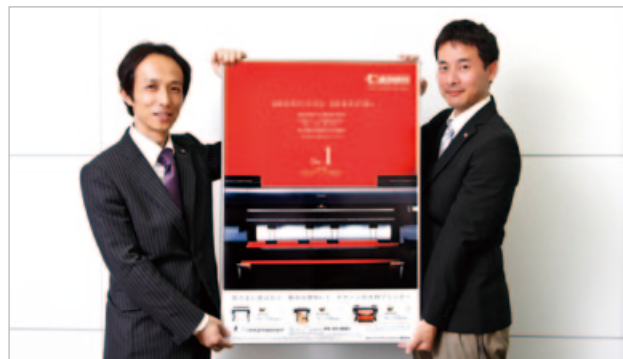


・普通紙積載バスケット

新設計のペーパーガイドにより、設計図面などの定形用紙が出力された順序を維持したまま、丸まらずにきれいにバスケットに積載できる



『imagePROGRAF』シリーズで印刷したNo.1広告ポスター。インクジェットとは思えないほど鮮やかだ



の無駄が出ない。さらに、「ロール紙レビュー機能」では、ロール紙に印刷するイメージを画面上で確認できるため、印刷ミスを防ぎ、効率よく印刷できる。

他にもコストを抑制しながら生産効率をアップするための工夫が施されている。例えば、インクや用紙の使用量から1回の印刷コスト・月額印刷コストを算出する「アカウント機能」は、コスト削減を推進する経営者や管理者の評価が高く、日本だけでなく欧米のエンドユーザー様からも注目されている。新しくなった「普通紙積載バスケット」は、出力した図面が丸まらずに印刷順にきれいに積載されるので、複数で連続出力する場合に生産性が向上する。

提案書や3Dパースの出力にも対応 あらゆるニーズにマッチした商品

「過去の大判プリンタには、CAD用途としてドライバ出力など固有のルールがあったため、操作が難しいという印象があるようです。現在では汎用性が高まり、“大きな家庭用プリンタ”と思えるほど操作は簡単です。価格もかなり求めやすくなっていますので、価格性能比は非常に高いと思います」と赤土氏。これまでの線画だけを出力する専用プロッタと呼ばれた製品は、固有のソフトにしか対応していないなど制約が大きかった。しかし、汎用性の高い『5Colorsモデル』ならCAD用途はもちろん、さまざまな用途に対応でき

る。例えば、提案力が重視されるプロポーザル案件で

は、CAD図面だけでなく、色鮮やかな提案書やポスター、3Dパースによる完成イメージなどをすべて『5Colorsモデル』で出力できるのだ。

今が大判プリンタ拡販の好機 CAD用途なら『5Colorsモデル』

最新の大判プリンタは、4、5年前に比べて消費電力が大幅に軽減され、家庭用のインクジェットプリンタ並みの低消費電力を実現している。さらに大判プリンタの製品サイクルが5、6年ということもあり、今が製品リプレースのタイミングでもある。節電対策をきっかけとし、既存の出力機器のリプレース提案をパートナー様が行う好機といえる。

キヤノンは、大判業務用プリンタのグローバル企業のオセ社を買収したこと

で、大判プリンタの品揃えも拡充している。そのため、企業規模を問わず、あらゆるニーズに応えられるのだ。また、キヤノンは全国にサポート拠点があるので、パートナー様は安心して販売活動に専念できる利点もある。

北岡氏は「製品力には自信があります。用途が広がったことで、大判プリンタ市場は今後ますます伸びると予想しています。今後はパートナー様への情報発信やきめ細かなサポートを提供していきます」と今後の抱負を話してくれた。

速くてキレイという基本機能に加え、無駄なコストを抑制しながら生産効率をアップするキヤノンの大判プリンタ『5Colorsモデル』。パートナー様には、積極的な提案でビジネス領域を拡大していただきたい。**BP**

■大判フルカラーコピーシステム



・紙図面や設計仕様を電子化

大判プリンタ『imagePROGRAF』は、「大判コピーシステムセット CiC24 MFP」を取り付けることで、大判コピーソリューションへと拡張できる。モノクロからフルカラーまで対応し、各種図面、地図、ポスター、測量・設計・設備などの技術資料や新聞、写真のスキャニングやコピーが手軽にできる。特に過去の紙図面を効率的に電子化したい場合に役立つ。紙資料の電子化は、今後の生産活動に避けては通れない案件。大判プリンタ『imagePROGRAF』なら、エンドユーザー様のタイミングで拡張でき、パートナー様のビジネスボリュームを拡大できることも魅力だ。